

術前キイトルーダ[®] + Weeklyパクリタキセル + Weeklyカルボプラチン療法 (Day1)

(電子カルテ名称: 術前キイトルーダ[®] + WeeklyPTX + WeeklyCBDCA)

【外科】240-1【乳癌】

(第 コース目)

■エンボス

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印
身長: cm	体重: kg
体表面積: m ²	Cr: mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 3週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	~21
施行日	/	/	/	
キイトルーダ	↓	休薬	休薬	
パクリタキセル	↓	↓	↓	
カルボプラチン	↓	↓	↓	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	
①	生食 50mL 10分
②	●キイトルーダ【 】mg 生食 50mL 30分
※③	生食 250mL 1時間
※③	同時に側管より 内服薬 レスタミン10mg 5T デキサート注6.6mg 1V ガスター注20mg 1A パロノセトロン注0.75mg 1V 生食 100mL 30分
※③	
④	
⑤	●カルボプラチン【 】mg 5%ブドウ糖 250mL 1時間
⑥	生食 50mL 10分フラッシュ

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
キイトルーダ	200mg/Body
パクリタキセル	80 mg/m ² mg/Body
カルボプラチン	AUC=1.5 mg/Body

入力薬剤師	看護師	看護師

■注意・確認事項

- パクリタキセル投与中はアレルギー発現に注意すること。特に投与開始10分以内は頻回に観察すること。
- 過敏症予防の前投薬を終了して30分以上経っているのを確認してからパクリタキセルを投与すること。
- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- 本レジメンは、「術前キイトルーダ+EC療法」前に施行すること。
- 投与は、4コースまでとする。
- 外来から初回導入となる場合は、インフュージョンリアクションの観察の為、点滴終了1時間後に医師の診察を受け、帰宅の許可を得ること。
- 必要に応じてデカドロン錠8mg(内服オーダ)はday2,3,9,10,16,17に投与する。